

## オーストラリアに行って変わった自分



藍住東中学校 曾根 葵

私はこの海外派遣事業に参加して、貴重な経験が出来たこと、また、有意義な 10 日間を過ごせたことを心から嬉しく思います。

オーストラリアに行く前は、とにかく不安でした。話は通じるのか、衣食住で困ることはないか、など英語や生活に関する不安でいっぱいでした。着いてみると、衣食住に関しては全然平気でした。しかし、英語の方は不安が的中しました。緊張もあって、質問に対する答えが「YES」「NO」「OK」といったものしか出てきませんでした。でも、このままでは意味がない、何のためにオーストラリアへ来たのか、と思うと間違っているから、とりあえず自分の持っている知識をフルに使って、頑張って伝えていこうと勇気がわいてきました。ホストファミリーには積極的に手伝いをしようかをたずねたり、買い物や散歩、崖に行つて海を見ること、ビーチへ行くことなどに誘われたら、一緒に行つて少しでも会話をする時間を増やしたりしました。また、学校ではたくさんの生徒が話しかけてくれるので、会話を続けられるような返答をすることを心がけました。



現地では、リチャード先生による英語の授業も受けました。始めは反応も薄く、質問をするのも恥ずかしくて、なかなか出来ませんでした。しかし、意識を変えたら授業も楽しくて、質問するのも恥ずかしいと思わなくなりました。

そして、だんだんと日が過ぎるにつれ、英語に慣れてきたのか、オーストラリアの人達が何を言っているのかも分かってきました。それが本当におもしろくて、英語の楽しさを感じるようになりました。家でも、ホストファミリーのお母さんに洗濯をお願いしたり、子どもは年上から年下まで 6 人いましたが、そんなに歳の差はなく、あまり気を使いすぎずに接していけるようになりました。皆で仲良く折り紙をしたり、UNO やジェンガなどのゲームをしたり、映画を見たりする機会も増えて、同時に笑顔も増えていきました。本当の家族のように接してくれたことが、何よりも嬉しかったです。私が日本に帰っても連絡を取り合いたいと言ってくれたので、メールアドレスを書いてもらいました。無事に帰れたこと、もっと英語の勉強を頑張りたいと思ったこと、感謝の言葉を送ると、温かい応援のメッセージが返ってきました。その時、改めて私の大切なオーストラリアファミリーだと思いました。



私はオーストラリアに行って何事にも積極的になること、広い心で物事を受け入れること、強い精神でいることを学びました。失敗をすることを恐れずにいることが大切なんだと何度も感じました。そして、より一層英語の勉強を頑張りたいと思いました。今まで外国へ行くことに興味が無かった私が、また外国へ行って現地の人とたくさん話をしたいと、思うようになりました。それぐらい大きな経験・思い出になった 10 日間でした。